

白い御座の裁き



ウィリアム・マリオン・ブラハム

白い御座の裁き



ウィリアム・マリオン・ブラハム

はじめに

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

www.messagehub.info

はじめに

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

www.messagehub.info

白い御座の裁き

黙示録20:11-15、

「また私は、大きな白い御座と、そこに着いておられる方を見た。地と天はその御前から逃げ去り、跡形もなくなった。

また私は、死んだ人々が大きい者も小さい者も御座の前に立っているのを見た。数々の書物が開かれた。書物がもう一つ開かれたが、それはいのちの書であった。死んだ者たちは、これらの書物に書かれていることにしたが、自分の行いに応じてさばかれた。

海はその中にいる死者を出した。死とよみも、その中にいる死者を出した。彼らはそれぞれ自分の行いに応じてさばかれた。

それから、死とよみは火の池に投げ込まれた。これが、すなわち火の池が、第二の死である。

白い御座の裁き

黙示録20:11-15、

「また私は、大きな白い御座と、そこに着いておられる方を見た。地と天はその御前から逃げ去り、跡形もなくなった。

また私は、死んだ人々が大きい者も小さい者も御座の前に立っているのを見た。数々の書物が開かれた。書物がもう一つ開かれたが、それはいのちの書であった。死んだ者たちは、これらの書物に書かれていることにしたが、自分の行いに応じてさばかれた。

海はその中にいる死者を出した。死とよみも、その中にいる死者を出した。彼らはそれぞれ自分の行いに応じてさばかれた。

それから、死とよみは火の池に投げ込まれた。これが、すなわち火の池が、第二の死である。

いのちの書に記されていない者はみな、火の池に投げ込まれた。」

正しい人々と正しくない人々がこの裁きに入ります。そのように書かれています。これらの正しい人々は花嫁ではありません、なぜなら花嫁は主と共に座って裁きを行うからです。

1コリント6:2-3、

「聖徒たちが世界をさばくようになることを、あなたがたは知らないのですか。世界があなたがたによってさばかれるのに、あなたがたには、ごく小さな事件さえもさばく力がないのですか。

あなたがたは知らないのですか。私たちは御使いたちをさばくようになります。それなら、日常の事柄は言うまでもないではありませんか。」

黙示録3:21、

「勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせる。それは、わたしが

いのちの書に記されていない者はみな、火の池に投げ込まれた。」

正しい人々と正しくない人々がこの裁きに入ります。そのように書かれています。これらの正しい人々は花嫁ではありません、なぜなら花嫁は主と共に座って裁きを行うからです。

1コリント6:2-3、

「聖徒たちが世界をさばくようになることを、あなたがたは知らないのですか。世界があなたがたによってさばかれるのに、あなたがたには、ごく小さな事件さえもさばく力がないのですか。

あなたがたは知らないのですか。私たちは御使いたちをさばくようになります。それなら、日常の事柄は言うまでもないではありませんか。」

黙示録3:21、

「勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせる。それは、わたしが

勝利を得て、わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。」

見てください、花嫁は主と共に御座の中にいます。彼女は世界を裁くならば、彼女は裁きで主と共に座らなければなりません。それは実にダニエルが見たことです。

ダニエル7:9-10、

「私が見ていると、やがていくつかの御座が備えられ、『年を経た方』が座に着かれた。その衣は雪のように白く、頭髮は混じりけのない羊の毛のよう。御座は火の炎、その車輪は燃える火で、

火の流れがこの方の前から出ていた。幾千もの者がこの方に仕え、幾万もの者がその前に立っていた。さばきが始まり、いくつかの文書が開かれた。」

見てください、これは同じ場面です、主に仕える幾千もの者は花嫁です、なぜなら夫に仕えるのは妻以外に誰がいるのですか。

勝利を得て、わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。」

見てください、花嫁は主と共に御座の中にいます。彼女は世界を裁くならば、彼女は裁きで主と共に座らなければなりません。それは実にダニエルが見たことです。

ダニエル7:9-10、

「私が見ていると、やがていくつかの御座が備えられ、『年を経た方』が座に着かれた。その衣は雪のように白く、頭髮は混じりけのない羊の毛のよう。御座は火の炎、その車輪は燃える火で、

火の流れがこの方の前から出ていた。幾千もの者がこの方に仕え、幾万もの者がその前に立っていた。さばきが始まり、いくつかの文書が開かれた。」

見てください、これは同じ場面です、主に仕える幾千もの者は花嫁です、なぜなら夫に仕えるのは妻以外に誰がいるのですか。

すると疑問が生じるのだが、なぜこれらの正しい人々は裁きの中で現れるのですか。それはその他に出現できるところがないからです。なぜなら復活は2回しかなく、第1回の復活に加わるのに十分値しないため、彼らは第2回の復活、すなわち復活して裁かれる時に現れなければなりません。第1回の復活に値する人々(花嫁)は裁きの中に入りません。ヨハネ5:24、「まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠のいのちを持ち(信じる者はすでに永遠のいのちを受け取っていて、すでにその人の財産となっていることを意味します)、さばきにあうことがなく(裁きの中に入ることはない、というのが真意です)、死からいのちに移っています(永遠に)。」しかし注意してください、イエスはもう一つのグループの人々はある特定の復活で永遠のいのちを受け取ることを既にご存知のはずです。彼らは復活でそれを受け取り、**花嫁の一員としてあらかじめ受け取っていません。**

ヨハネ5:28-29、

「このことに驚いてはなりません。墓の中にいる者がみな、子の声を聞く時が来るのです。そのとき、善を行った者はよ

空中で主と会い、いつまでも主とともにいるまで邁進しましょう[1テサ4:13-17]。

すると疑問が生じるのだが、なぜこれらの正しい人々は裁きの中で現れるのですか。それはその他に出現できるところがないからです。なぜなら復活は2回しかなく、第1回の復活に加わるのに十分値しないため、彼らは第2回の復活、すなわち復活して裁かれる時に現れなければなりません。第1回の復活に値する人々(花嫁)は裁きの中に入りません。ヨハネ5:24、「まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠のいのちを持ち(信じる者はすでに永遠のいのちを受け取っていて、すでにその人の財産となっていることを意味します)、さばきにあうことがなく(裁きの中に入ることはない、というのが真意です)、死からいのちに移っています(永遠に)。」しかし注意してください、イエスはもう一つのグループの人々はある特定の復活で永遠のいのちを受け取ることを既にご存知のはずです。彼らは復活でそれを受け取り、**花嫁の一員としてあらかじめ受け取っていません。**

ヨハネ5:28-29、

「このことに驚いてはなりません。墓の中にいる者がみな、子の声を聞く時が来るのです。そのとき、善を行った者はよ

空中で主と会い、いつまでも主とともにいるまで邁進しましょう[1テサ4:13-17]。

あなたの名前がいのちの書にあってそこにとどまり、聖なる天使たちの前に明かされるなら、あなたの名前を呼ぶ神の声よりも愛おしい地上の声なんてありません。「父よ、彼らは世の旅で人々の前でわたしの名前を認めました。今わたしは彼らの名前をあなたとすべての天使の前で認めます。」[マタイ10:32, ルカ12:8]

「耳のある者は、御霊が諸教会に告げられることを聞きなさい。」

[黙示録3:6]

御霊はもう一度語られました。再び私たちは御霊が別の時代に語られる記録を熟読しました。そしてその記録は正しいとわかりました。もう一つの時代は過ぎ、そして神が預言されていたことをまさに成就しました。終わりの日の花嫁になることを望む私たちにとってそれはなんといい慰めでしょうか、なぜなら私たちの心は神は真実ですべての約束を果たされる方であるために喜びで飛び跳ねるからです[1テサ5:24]。もし神はサルデイス時代の人々に真実で信頼できる方なら、私たちのこの時代にも同じく信頼できる方です。もし彼らは神の恵みと御力で神に受け入れられ褒められるなら、私たちも同じです。したがって、完全なところへ向かい、そして

あなたの名前がいのちの書にあってそこにとどまり、聖なる天使たちの前に明かされるなら、あなたの名前を呼ぶ神の声よりも愛おしい地上の声なんてありません。「父よ、彼らは世の旅で人々の前でわたしの名前を認めました。今わたしは彼らの名前をあなたとすべての天使の前で認めます。」[マタイ10:32, ルカ12:8]

「耳のある者は、御霊が諸教会に告げられることを聞きなさい。」

[黙示録3:6]

御霊はもう一度語られました。再び私たちは御霊が別の時代に語られる記録を熟読しました。そしてその記録は正しいとわかりました。もう一つの時代は過ぎ、そして神が預言されていたことをまさに成就しました。終わりの日の花嫁になることを望む私たちにとってそれはなんといい慰めでしょうか、なぜなら私たちの心は神は真実ですべての約束を果たされる方であるために喜びで飛び跳ねるからです[1テサ5:24]。もし神はサルデイス時代の人々に真実で信頼できる方なら、私たちのこの時代にも同じく信頼できる方です。もし彼らは神の恵みと御力で神に受け入れられ褒められるなら、私たちも同じです。したがって、完全なところへ向かい、そして

みがえっていのちを受けるために、悪を行なった者はよみがえってさばきを受けるために出て来ます。」

私たち皆ヨハネ5:28-29は**携挙ではない**ことを知っています。なぜならキリストの中で死んだ者のみはその時墓から蘇り、まだ地上にいる生きている花嫁に加わります。

1テサ 4:16-17、

「すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。」

しかしヨハネ5:28-29では**すべての者は墓から蘇ると**言っています。これは黙示録20:11-15で言われているのとまさに同じ復活で、**死んだ者たちは**主の前に連れて行かれ、自分たちの行いによって裁かれ、そして名前がいのちの書に書かれていない者たちは火の湖に

みがえっていのちを受けるために、悪を行なった者はよみがえってさばきを受けるために出て来ます。」

私たち皆ヨハネ5:28-29は**携挙ではない**ことを知っています。なぜならキリストの中で死んだ者のみはその時墓から蘇り、まだ地上にいる生きている花嫁に加わります。

1テサ 4:16-17、

「すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。」

しかしヨハネ5:28-29では**すべての者は墓から蘇ると**言っています。これは黙示録20:11-15で言われているのとまさに同じ復活で、**死んだ者たちは**主の前に連れて行かれ、自分たちの行いによって裁かれ、そして名前がいのちの書に書かれていない者たちは火の湖に

投げ込まれます。

ここでなぜ彼らは裁きで永遠のいのちを与えられなければならないのかという問題に直面します。なぜなら使徒書簡ではキリストの御霊を持たないと滅亡するとはっきりと指し示しているように見えるからです。そのように見えるが、私たちはイエスの言葉を疑うべきではなく、主はいのちの書の中には全体的な復活の前もしくは後に永遠のいのちを受け取る者がいると明白に示されています。

パウロはこの真理を避けておらず、なぜなら彼はピリピ3:11ではっきりこう言いました、

「何とかして死者の中からの復活に達したいのです。」

この声明はとても独特です。望んでいようといまいと、私たちは**みんな**一度復活するのは私たちみんな知っていることです。皆復活します。そのためパウロは、「何とかして死者の中からの復活に達したいのです。」と言っているはずがありません。事実上、彼はそう言っているのではありません。その意味は、「何とかして死者の中からの復活より前の復活に達したいのです。」これは普遍的なもしくは2回目の復活に達したいのでは

投げ込まれます。

ここでなぜ彼らは裁きで永遠のいのちを与えられなければならないのかという問題に直面します。なぜなら使徒書簡ではキリストの御霊を持たないと滅亡するとはっきりと指し示しているように見えるからです。そのように見えるが、私たちはイエスの言葉を疑うべきではなく、主はいのちの書の中には全体的な復活の前もしくは後に永遠のいのちを受け取る者がいると明白に示されています。

パウロはこの真理を避けておらず、なぜなら彼はピリピ3:11ではっきりこう言いました、

「何とかして死者の中からの復活に達したいのです。」

この声明はとても独特です。望んでいようといまいと、私たちは**みんな**一度復活するのは私たちみんな知っていることです。皆復活します。そのためパウロは、「何とかして死者の中からの復活に達したいのです。」と言っているはずがありません。事実上、彼はそう言っているのではありません。その意味は、「何とかして死者の中からの復活より前の復活に達したいのです。」これは普遍的なもしくは2回目の復活に達したいのでは

を構成するメンバーをご存知です。それは単なる編集段階で、神は第二の復活のあとに残り、シオンに属する者たちの名前を単に新しい記録に置かれるだけのことでありませんか。もちろん、そうです。

「そしてわたしは、わたしの父と父の御使いの前でその人を認めます。」

[マタイ10:32, ルカ12:8]

天で点呼するときです!「人は死ぬと、また生きるでしょうか。私は苦役の日の限り、待ちます。私の代わりがやって来るまで。あなたがお呼びになれば、お答えします。」「[ヨブ14:14-15]偉大なる羊飼いは名前で御自分の羊を呼ばれています。神の創造なる声は彼らをちりの中から呼び出される、あるいはまだ眠りに入っていない人も彼らを原子レベルから変えられます。それが携挙です。それが子羊と彼の花嫁の偉大な披露宴です。

しかし携挙は唯一の点呼ではありません。第二の復活の時、白い御座の裁きで、父と父の天使の前で認められる名前があります。人にとって最も愛おしい音は自分の名前が呼ばれる声だとある人から教わりました。人々は自分たちの名が公に知れ渡るのがなんと好きでしょう。称賛をなんと愛していることでしょう。しかしもし

を構成するメンバーをご存知です。それは単なる編集段階で、神は第二の復活のあとに残り、シオンに属する者たちの名前を単に新しい記録に置かれるだけのことでありませんか。もちろん、そうです。

「そしてわたしは、わたしの父と父の御使いの前でその人を認めます。」

[マタイ10:32, ルカ12:8]

天で点呼するときです!「人は死ぬと、また生きるでしょうか。私は苦役の日の限り、待ちます。私の代わりがやって来るまで。あなたがお呼びになれば、お答えします。」「[ヨブ14:14-15]偉大なる羊飼いは名前で御自分の羊を呼ばれています。神の創造なる声は彼らをちりの中から呼び出される、あるいはまだ眠りに入っていない人も彼らを原子レベルから変えられます。それが携挙です。それが子羊と彼の花嫁の偉大な披露宴です。

しかし携挙は唯一の点呼ではありません。第二の復活の時、白い御座の裁きで、父と父の天使の前で認められる名前があります。人にとって最も愛おしい音は自分の名前が呼ばれる声だとある人から教わりました。人々は自分たちの名が公に知れ渡るのがなんと好きでしょう。称賛をなんと愛していることでしょう。しかしもし

ならず、その結末は焼かれることであるが、彼らは束ねられた時に焼かれるのではなく、後のためにとっておかれるのです。すなわち何千年もの後、もしくは第二の復活の時です。しかし一旦毒麦が束ねられると携挙は起き、そして束ねることとアンチキリストの表れの間にそのように起きます。そしてダニエル書に記されているように全ての者が立って集まる時が来ます。王は御自分の花嫁とともにそこにおられ、彼らの前には裁かれる大勢な人々がいます。はい、**全ての者がそこ**にいます。**全ての**の書物が開かれます。**全てのもの**に対する最終判決が下されます。収穫は本当に終わります。一度開かれた書物は閉ざされます。

この話題に結論を下す前に、最初に話したことに言及させてください、すなわち主は**現在**名前の記録を編集されていると言っている聖句はどこにもないということです。それは確かです。しかし未来に行われる編集について言及している聖句があります。それは詩篇第87編にあります。この詩篇は主はシオンで生まれた者の名前を記録されることについて話しています。ああ、神は時代の終わりもしくはシオンに対応される期間が終了するまで待たないとシオンに生まれる者は誰なのかをご存知でないと思ひ込んではいけません。それは再び全知を否定することになります。神はもちろんそれ

ならず、その結末は焼かれることであるが、彼らは束ねられた時に焼かれるのではなく、後のためにとっておかれるのです。すなわち何千年もの後、もしくは第二の復活の時です。しかし一旦毒麦が束ねられると携挙は起き、そして束ねることとアンチキリストの表れの間にそのように起きます。そしてダニエル書に記されているように全ての者が立って集まる時が来ます。王は御自分の花嫁とともにそこにおられ、彼らの前には裁かれる大勢な人々がいます。はい、**全ての者がそこ**にいます。**全ての**の書物が開かれます。**全てのもの**に対する最終判決が下されます。収穫は本当に終わります。一度開かれた書物は閉ざされます。

この話題に結論を下す前に、最初に話したことに言及させてください、すなわち主は**現在**名前の記録を編集されていると言っている聖句はどこにもないということです。それは確かです。しかし未来に行われる編集について言及している聖句があります。それは詩篇第87編にあります。この詩篇は主はシオンで生まれた者の名前を記録されることについて話しています。ああ、神は時代の終わりもしくはシオンに対応される期間が終了するまで待たないとシオンに生まれる者は誰なのかをご存知でないと思ひ込んではいけません。それは再び全知を否定することになります。神はもちろんそれ

なく、第1回目の復活に達したいということです。この点についてはこう言及されています、「この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対して、第二の死は何の力も持っていない。彼らは神とキリストの祭司となり、キリストとともに千年の間、王として治める。」[黙示録20:6] 第一の復活は第二の死と関わりがありません。それは何千年もの末に**残りの死んだ者たちがみなよみがえった**時のことです。その日、永遠のいのちを得る者もいれば、第二の死に落ちる者もいます。第二の復活で永遠のいのちを与えられる者をあてる必要はありません。彼らは親切と善良を持って「兄弟たち」に接していた人々だと私たちは教わりました[マタイ25:40]。復活して火の湖に投げ込まれるのは「兄弟たち」をひどく扱った人々です。これは神のみ言葉であるため、単にこれを受け入れるだけで良いのです。ここで論争すべき点はなく、単に事実が述べられただけです。

さらにはつきりさせるために、マタイ25:31-46の言葉に特に注意してください。それは羊飼いが文字通り羊をやぎより分けると言っているのではなく、羊飼いは羊をやぎより分けようと言っています。白い御座の裁きのこの特別な時、羊はそこにいません。羊は主の囲いの中にいて、彼らは主の声(御言葉)を聞きそして

なく、第1回目の復活に達したいということです。この点についてはこう言及されています、「この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対して、第二の死は何の力も持っていない。彼らは神とキリストの祭司となり、キリストとともに千年の間、王として治める。」[黙示録20:6] 第一の復活は第二の死と関わりがありません。それは何千年もの末に**残りの死んだ者たちがみなよみがえった**時のことです。その日、永遠のいのちを得る者もいれば、第二の死に落ちる者もいます。第二の復活で永遠のいのちを与えられる者をあてる必要はありません。彼らは親切と善良を持って「兄弟たち」に接していた人々だと私たちは教わりました[マタイ25:40]。復活して火の湖に投げ込まれるのは「兄弟たち」をひどく扱った人々です。これは神のみ言葉であるため、単にこれを受け入れるだけで良いのです。ここで論争すべき点はなく、単に事実が述べられただけです。

さらにはつきりさせるために、マタイ25:31-46の言葉に特に注意してください。それは羊飼いが文字通り羊をやぎより分けると言っているのではなく、羊飼いは羊をやぎより分けようと言っています。白い御座の裁きのこの特別な時、羊はそこにいません。羊は主の囲いの中にいて、彼らは主の声(御言葉)を聞きそして

主について行きました。彼らは既に永遠のいのちを持っているため裁きに入ることはできません。しかし永遠のいのちを持たない者は裁きの中にいます。彼らは永遠のいのちの中に入ることを許されます。しかし何をもって永遠のいのちの中に入ることを許されるのでしょうか。決して花嫁のように既に主のいのちを持っているからではなく、彼らは主の兄弟たちに親切をしたため受取ったのです。彼らは主の兄弟たちではありません。主の兄弟たちはイエスとともに共同相続します。彼らは何も相続せず、いのちのみ受け取ります。主とともに御座などもともに享受しません。彼らの名前はいのちの書にあるはずで、消されません。今彼らの神の人々への愛のために彼らは承認され救われました。彼らは神の子たちに仕え、助けたに違いありません。ニコデモやガマリエルのように困難な時に子たちを支持したかもしれません。

もしこれが「復興」のように見えるならば、気をつけてください、悪人に復興はなく、火の湖に投げ込まれます。破壊される人々の名前は一度はいのちの書に名前が記された者も多かったが、彼らは自分たちの時代における生ける御言葉の表し(生ける書信)である神の人々を尊敬しなかったため名前を消されました。

主について行きました。彼らは既に永遠のいのちを持っているため裁きに入ることはできません。しかし永遠のいのちを持たない者は裁きの中にいます。彼らは永遠のいのちの中に入ることを許されます。しかし何をもって永遠のいのちの中に入ることを許されるのでしょうか。決して花嫁のように既に主のいのちを持っているからではなく、彼らは主の兄弟たちに親切をしたため受取ったのです。彼らは主の兄弟たちではありません。主の兄弟たちはイエスとともに共同相続します。彼らは何も相続せず、いのちのみ受け取ります。主とともに御座などもともに享受しません。彼らの名前はいのちの書にあるはずで、消されません。今彼らの神の人々への愛のために彼らは承認され救われました。彼らは神の子たちに仕え、助けたに違いありません。ニコデモやガマリエルのように困難な時に子たちを支持したかもしれません。

もしこれが「復興」のように見えるならば、気をつけてください、悪人に復興はなく、火の湖に投げ込まれます。破壊される人々の名前は一度はいのちの書に名前が記された者も多かったが、彼らは自分たちの時代における生ける御言葉の表し(生ける書信)である神の人々を尊敬しなかったため名前を消されました。

義人としても予め知られていないのです。彼らは果実を実らないため(彼らは御言葉の外にいて、その中に住んでいないため)、死刑を宣告されます。そして先ほど示した花嫁のために立ち、彼女を援助して慰める者がいます。彼らの名前はいのちの書に留まり、永遠のいのちを得ます。最後にファラオのようないのちの書に一度も名前を記されたことがない者がいて、彼らも火の湖の中に投げ込まれます。

したがって麦粒が収穫のための植物に成長するのが教会の記録です。そして小麦の植物の全ての部位が麦の種子ではないのと同じように、教会もそうで、全ての教会が花嫁であるわけではなく、全てが永遠のいのちを与えられるのでもなく、その一部は集められて穀倉の中に入れられ、一部は第二の復活で永遠のいのちを与えられるために集められ、そしてみ穀として呼ばれる部分は火の湖の中で焼かれます。

これはまさにバプテスマのヨハネとイエスが言われたことで、なぜならヨハネは麦は集められて倉に納められ、穀は焼かれると言いました[マタイ3:12]。イエスは言われました、「まず毒麦を束ねてから、麦を集めなさい。」[マタイ13:30,39]。エキュメニカル運動は毒麦の教会を束ねる、なぜなら毒麦は先に束ねられなければ

義人としても予め知られていないのです。彼らは果実を実らないため(彼らは御言葉の外にいて、その中に住んでいないため)、死刑を宣告されます。そして先ほど示した花嫁のために立ち、彼女を援助して慰める者がいます。彼らの名前はいのちの書に留まり、永遠のいのちを得ます。最後にファラオのようないのちの書に一度も名前を記されたことがない者がいて、彼らも火の湖の中に投げ込まれます。

したがって麦粒が収穫のための植物に成長するのが教会の記録です。そして小麦の植物の全ての部位が麦の種子ではないのと同じように、教会もそうで、全ての教会が花嫁であるわけではなく、全てが永遠のいのちを与えられるのでもなく、その一部は集められて穀倉の中に入れられ、一部は第二の復活で永遠のいのちを与えられるために集められ、そしてみ穀として呼ばれる部分は火の湖の中で焼かれます。

これはまさにバプテスマのヨハネとイエスが言われたことで、なぜならヨハネは麦は集められて倉に納められ、穀は焼かれると言いました[マタイ3:12]。イエスは言われました、「まず毒麦を束ねてから、麦を集めなさい。」[マタイ13:30,39]。エキュメニカル運動は毒麦の教会を束ねる、なぜなら毒麦は先に束ねられなければ

御子を持たない者は(永遠の)いのちを持ちません。そのいのちを持つ者は世界の基が据えられる前に主の中にいました。彼らは世界の基が据えられる前の中で選ばれました。その偉大な王室の種子、イエス・キリストは植えられ(主は死にました)、そして主にいたいのは小麦の植物を通してやってきて、同じいのちを持ち、元の種子に似た小麦の種を何倍も実ります。なぜなら御霊によってそれらは元のものだからです。

ここで贖われた(元の所有者によって買い戻された)花嫁(彼女はエバがアダムの中にいたように主の中いた)の「会員名」が決して記録の中から消されることがないの理由がわかります。彼女は主の一部です。彼女は御座の中にいます。決して裁かれることはありません。花嫁の中の全ての者は主の一員で、主は一人も失うことはありません[ヨハネ6:39]。しかしいのちの書に「すべて」のメンバーがそれに当てはまるとは言っていない。なぜなら彼らの中にはユダのような者がいるからです。最後の日に現れた者が、奇妙な働きをしたあと、イエスは彼らのことを全く知らないと言われるのを見ることができます[マタイ7:21-23]。これは主が彼らの存在を知らないと言っているではありません。主は全知の方で彼らを知らないはずがないが、彼らは花嫁の一員として予め知られておらず、第二の復活の中の

御子を持たない者は(永遠の)いのちを持ちません。そのいのちを持つ者は世界の基が据えられる前に主の中にいました。彼らは世界の基が据えられる前の中で選ばれました。その偉大な王室の種子、イエス・キリストは植えられ(主は死にました)、そして主にいたいのは小麦の植物を通してやってきて、同じいのちを持ち、元の種子に似た小麦の種を何倍も実ります。なぜなら御霊によってそれらは元のものだからです。

ここで贖われた(元の所有者によって買い戻された)花嫁(彼女はエバがアダムの中にいたように主の中いた)の「会員名」が決して記録の中から消されることがないの理由がわかります。彼女は主の一部です。彼女は御座の中にいます。決して裁かれることはありません。花嫁の中の全ての者は主の一員で、主は一人も失うことはありません[ヨハネ6:39]。しかしいのちの書に「すべて」のメンバーがそれに当てはまるとは言っていない。なぜなら彼らの中にはユダのような者がいるからです。最後の日に現れた者が、奇妙な働きをしたあと、イエスは彼らのことを全く知らないと言われるのを見ることができます[マタイ7:21-23]。これは主が彼らの存在を知らないと言っているではありません。主は全知の方で彼らを知らないはずがないが、彼らは花嫁の一員として予め知られておらず、第二の復活の中の

この点についてはっきりと理解すべきです。それらはユダヤ人を保護して助けたことで裁きの後に至福千年に入った国家を指しているではありません。それはとても明白で、なぜならこれらの聖句の結論こうだからです。「こうして、この者たち(悪人)は永遠の刑罰(火の湖)に入り、正しい人たちは永遠のいのちに入ります。」二つの裁きが開かれ、悪人が火の湖に投げ込まれると記載されているところはありません。獣と偽預言者のみが大患難の末に裁かれます。いいえ、これは白い御座の裁きで、彼らは本に書かれたことに基づいて裁かれます。

第二の復活で、第五の封印が示している「祭壇の下の魂たち」[黙示録6:9-11]は白い衣を与えられ、そしてもちろん永遠のいのちも与えられる、でないと白い衣の意味がないのです。

「子羊が第五の封印を解いたとき、私は、神のことばと、自分たちが立てた証しのゆえに殺された者たちのたましいが、祭壇の下にいるのを見た。

彼らは大声で叫んだ。『聖なるまことの主よ。いつまでさばきを行わず、地に

この点についてはっきりと理解すべきです。それらはユダヤ人を保護して助けたことで裁きの後に至福千年に入った国家を指しているではありません。それはとても明白で、なぜならこれらの聖句の結論こうだからです。「こうして、この者たち(悪人)は永遠の刑罰(火の湖)に入り、正しい人たちは永遠のいのちに入ります。」二つの裁きが開かれ、悪人が火の湖に投げ込まれると記載されているところはありません。獣と偽預言者のみが大患難の末に裁かれます。いいえ、これは白い御座の裁きで、彼らは本に書かれたことに基づいて裁かれます。

第二の復活で、第五の封印が示している「祭壇の下の魂たち」[黙示録6:9-11]は白い衣を与えられ、そしてもちろん永遠のいのちも与えられる、でないと白い衣の意味がないのです。

「子羊が第五の封印を解いたとき、私は、神のことばと、自分たちが立てた証しのゆえに殺された者たちのたましいが、祭壇の下にいるのを見た。

彼らは大声で叫んだ。『聖なるまことの主よ。いつまでさばきを行わず、地に

住む者たちに私たちの血の復讐をなさらないのですか。』

すると、彼ら一人ひとりに白い衣が与えられた。そして、彼らのしもべ仲間、彼らと同じように殺されようとしている兄弟たちの数が満ちるまで、もうしばらくの間、休んでいるように言い渡された。」

祭壇の下にいる魂にイエスのために証したことで殺された人はいないのに特に気をとめてください。彼らはアンチパスのように主の御名をしっかりと守ることで殺された訳ではありませんでした。彼らは新しく生まれ、永遠のいのちを自分たちの財産にした者ではありません。彼らは復活していのちを受け取るのは彼らご自身が守ったからです。また、彼らは復讐を叫び求めることに注意してください。彼らは花嫁として選ばれる人員であるはずがありません。花嫁は振り向いて、「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」と叫びます。彼らはユダヤ人です。そのはずで、なぜなら彼らは五つ目の封印にいて、四つ目の封印で異邦人の花嫁は携挙の中に入って去ったからです。したがってこれらのユダヤ人

住む者たちに私たちの血の復讐をなさらないのですか。』

すると、彼ら一人ひとりに白い衣が与えられた。そして、彼らのしもべ仲間、彼らと同じように殺されようとしている兄弟たちの数が満ちるまで、もうしばらくの間、休んでいるように言い渡された。」

祭壇の下にいる魂にイエスのために証したことで殺された人はいないのに特に気をとめてください。彼らはアンチパスのように主の御名をしっかりと守ることで殺された訳ではありませんでした。彼らは新しく生まれ、永遠のいのちを自分たちの財産にした者ではありません。彼らは復活していのちを受け取るのは彼らご自身が守ったからです。また、彼らは復讐を叫び求めることに注意してください。彼らは花嫁として選ばれる人員であるはずがありません。花嫁は振り向いて、「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」と叫びます。彼らはユダヤ人です。そのはずで、なぜなら彼らは五つ目の封印にいて、四つ目の封印で異邦人の花嫁は携挙の中に入って去ったからです。したがってこれらのユダヤ人

ぜ植物全体が種子にならないのでしょうか。なぜならそれはあの最後のもののために造られたからです。あの植物の一部のみが種子に変わることができます。なぜならあの小麦の植物の一部のみが永遠のいのちを持つ麦粒だからです。

イスラエルがエジプトを離れる時のことからそのことの完璧な象徴を得ることができます。彼らは二百万人余りそこから出ました。全員いけにえの血の元で逃げました。全員紅海で洗礼を受け、水から出て聖霊の表れと祝福を享受し、天使の食べ物を食べ、彼らについてくる岩から水を飲みました。しかしごく少数名を除いて、彼らはカナンの地に入る彼らについてきた子孫の運搬者にすぎないのでした。イスラエルから出た者が皆、イスラエルではないからです[ローマ9:6]。ごく少数以外全ての人はいのちの書から名前が消されました。

今日の教会の中でも同様なことが起きています。いくつかの名前はいのちの書から消されます。永遠のいのちの書はいのちの書の中に含まれるもう一つの記録であるが、その中にある名前は消されることはありません。これがその記録です：神は私たちに永遠のいのちを与えられ、そしてこのいのちは御子のなかにあります。御子を持つ者は(永遠の)いのちを持ち、

ぜ植物全体が種子にならないのでしょうか。なぜならそれはあの最後のもののために造られたからです。あの植物の一部のみが種子に変わることができます。なぜならあの小麦の植物の一部のみが永遠のいのちを持つ麦粒だからです。

イスラエルがエジプトを離れる時のことからそのことの完璧な象徴を得ることができます。彼らは二百万人余りそこから出ました。全員いけにえの血の元で逃げました。全員紅海で洗礼を受け、水から出て聖霊の表れと祝福を享受し、天使の食べ物を食べ、彼らについてくる岩から水を飲みました。しかしごく少数名を除いて、彼らはカナンの地に入る彼らについてきた子孫の運搬者にすぎないのでした。イスラエルから出た者が皆、イスラエルではないからです[ローマ9:6]。ごく少数以外全ての人はいのちの書から名前が消されました。

今日の教会の中でも同様なことが起きています。いくつかの名前はいのちの書から消されます。永遠のいのちの書はいのちの書の中に含まれるもう一つの記録であるが、その中にある名前は消されることはありません。これがその記録です：神は私たちに永遠のいのちを与えられ、そしてこのいのちは御子のなかにあります。御子を持つ者は(永遠の)いのちを持ち、

てきたが、まだそこに種はありません。その後殻の中に麦粒が形成されます。それは今元の姿に戻りました。今成熟した麦は収穫されます。

イエス・キリストは亡くなられました。主は御自分のいのちを捧げられました。そのいのちは教会に戻って復活の時に栄光の中で御自分に似る大勢な息子たちを生み出すようにしなければなりません。しかし小麦の種子が倍化された小麦の種子を生み出すために運搬者が必要のと同じように、キリストのいのちの運搬者となる教会が必要です。葉っぱ、茎、花穂、そして殻は種子の運搬者であり、種子自身ではないのと同じように、時代を通して教会全体は真の種子の運搬者として働いてきたが種子自身ではないのです。それがいのちの書は麦の植物全体であると言える理由です。

もう一度繰り返しましょう。ここにあの本来の種子が植えられていました。それは葉っぱを出しました。その葉っぱは種子ではありません。茎を伸ばしました。それも種子ではありません。麦粒が形成される殻が現れます。それは種子ではありません。花穂は現れます。そうしたら花粉は雌蕊に落ちます。あの植物の一部が奮い起こされます。あの本来の種子からの何かが植物の他の部分からやってきて種子を形成しました。な

てきたが、まだそこに種はありません。その後殻の中に麦粒が形成されます。それは今元の姿に戻りました。今成熟した麦は収穫されます。

イエス・キリストは亡くなられました。主は御自分のいのちを捧げられました。そのいのちは教会に戻って復活の時に栄光の中で御自分に似る大勢な息子たちを生み出すようにしなければなりません。しかし小麦の種子が倍化された小麦の種子を生み出すために運搬者が必要のと同じように、キリストのいのちの運搬者となる教会が必要です。葉っぱ、茎、花穂、そして殻は種子の運搬者であり、種子自身ではないのと同じように、時代を通して教会全体は真の種子の運搬者として働いてきたが種子自身ではないのです。それがいのちの書は麦の植物全体であると言える理由です。

もう一度繰り返しましょう。ここにあの本来の種子が植えられていました。それは葉っぱを出しました。その葉っぱは種子ではありません。茎を伸ばしました。それも種子ではありません。麦粒が形成される殻が現れます。それは種子ではありません。花穂は現れます。そうしたら花粉は雌蕊に落ちます。あの植物の一部が奮い起こされます。あの本来の種子からの何かが植物の他の部分からやってきて種子を形成しました。な

は主の御霊から生まれていません。彼らはイエスはメサイアであることすら信じていません。しかし彼らは異邦人のために神によって盲目とされました[ローマ 11:7-11, 25; 使徒15:14]。彼らはイエスを受け入れなかったが、神は彼らに永遠のいのちを与えられました。なぜなら彼らは自分たちが知っているすべての御言葉に忠実で、そのために命を捧げたためです。ヒトラ一、スターリンなどの手によって多くの人々が亡くなり、これからも同様に亡くなる人が現れます。

第二の復活で5人の愚かな処女たちが現れます(新改訳2017では「娘たち」と訳しています)[マタイ 25:1-12]。彼女たちは処女であることに気づいてください。彼女たちは聖霊を持たないので、花嫁に加わることはできないが、一方で5人の油を持つ賢い処女たちは花嫁に加わりました。しかしこれらの人々は自らを分別し、神を愛する人々で、彼女たちは知っている範囲内の御言葉の中にとどまることを努め、主の働きを助けたので、最後の時に現れます。彼女たちは至福千年を逃すのだが、これらのことから、至福千年は私たちが考えるもしくは信じるのよりもはるかに重要で素晴らしいことであるのを分かり始めることができます。

これらの人々はいのちの書に名前が記され、そこ

は主の御霊から生まれていません。彼らはイエスはメサイアであることすら信じていません。しかし彼らは異邦人のために神によって盲目とされました[ローマ 11:7-11, 25; 使徒15:14]。彼らはイエスを受け入れなかったが、神は彼らに永遠のいのちを与えられました。なぜなら彼らは自分たちが知っているすべての御言葉に忠実で、そのために命を捧げたためです。ヒトラ一、スターリンなどの手によって多くの人々が亡くなり、これからも同様に亡くなる人が現れます。

第二の復活で5人の愚かな処女たちが現れます(新改訳2017では「娘たち」と訳しています)[マタイ 25:1-12]。彼女たちは処女であることに気づいてください。彼女たちは聖霊を持たないので、花嫁に加わることはできないが、一方で5人の油を持つ賢い処女たちは花嫁に加わりました。しかしこれらの人々は自らを分別し、神を愛する人々で、彼女たちは知っている範囲内の御言葉の中にとどまることを努め、主の働きを助けたので、最後の時に現れます。彼女たちは至福千年を逃すのだが、これらのことから、至福千年は私たちが考えるもしくは信じるのよりもはるかに重要で素晴らしいことであるのを分かり始めることができます。

これらの人々はいのちの書に名前が記され、そこ

に留めました。しかし留めなかったのはどんな者たちでしょうか。彼らは世界教会組織に属し、花嫁に敵対する者で、名前が除かれます。彼らは手放されます。彼らは火の湖の中に投げ込まれます。

これまでの総括をする前に、さらに一歩進んで討論しましょう。まず第一に神が選びにおける御心を私たちは確信しています。それは神御自身の御心です。神の御心はご自分に似る人造られることで、すなわち御言葉の花嫁です。彼女は世界の基が据えられる前から**神の中で**選ばれました[エペソ1:4]。彼女は地上の各時代で現れる前にあらかじめ知られ、そして愛されました[ローマ8:29-30, 2テサ2:13-14]。彼女は主の御血によって贖われ、罪に定められることは**決して**ありません[ローマ8:1, ヨハネ3:18, 5:24]。彼女は決して裁きに現れることはなく、なぜなら彼女は罪を負うことはできないからです。

ローマ4:8、

「幸いなことよ、主が罪をお認めにならない人。」

しかし実際に彼女は主とともに主の裁きの御座に座り、世界そして御使いたちでさえ裁くのです[1コリン

分のいのちが御自分に似る身体たちの中に現れることができるように、御自分のいのちを教会(運搬者もしくは背負う者)に与えられました。復活の時にその王室の種子は多くの御自分に似る王室の種子をご覧になり、そして彼らは主にそっくりです。ヨハネが言うように、「私たちはキリストに似た者になる」[1ヨハネ3:2]。これはバプテスマのヨハネがイエスは麦を倉に収められると言った時に指していたことです[マタイ3:12]。それは永遠のいのちに入るのに選ばれた贖われた者たちが現れる復活の時のことでした。

この本来の種を最後には何倍も実る小麦の植物についての記録こそが**いのちの書**です。もう一度言います、この小麦の植物の歴史もしくは記録は**いのちの書**で、いのちの書の一部は**永遠のいのちの記録**です。(いのちの書の1部分がそうです。)その小麦の植物をよく調べると確信することができます。一粒の種子は撒かれます。すぐしたら葉っぱが見えます。しかしそれはまだ麦粒ではありません。次に茎が生えます。これもまだ麦粒ではありません。いのちはそこにいるが、麦粒ではありません。そうしたら茎の先端に小さな穂が生え、1本の花穂が伸びてきます。まだ麦の植物の状態ではありません。次にその植物に受粉が起こり、もみ殻が形づくられるのが見えます。これは非常に麦粒らしく見え

に留めました。しかし留めなかったのはどんな者たちでしょうか。彼らは世界教会組織に属し、花嫁に敵対する者で、名前が除かれます。彼らは手放されます。彼らは火の湖の中に投げ込まれます。

これまでの総括をする前に、さらに一歩進んで討論しましょう。まず第一に神が選びにおける御心を私たちは確信しています。それは神御自身の御心です。神の御心はご自分に似る人造られることで、すなわち御言葉の花嫁です。彼女は世界の基が据えられる前から**神の中で**選ばれました[エペソ1:4]。彼女は地上の各時代で現れる前にあらかじめ知られ、そして愛されました[ローマ8:29-30, 2テサ2:13-14]。彼女は主の御血によって贖われ、罪に定められることは**決して**ありません[ローマ8:1, ヨハネ3:18, 5:24]。彼女は決して裁きに現れることはなく、なぜなら彼女は罪を負うことはできないからです。

ローマ4:8、

「幸いなことよ、主が罪をお認めにならない人。」

しかし実際に彼女は主とともに主の裁きの御座に座り、世界そして御使いたちでさえ裁くのです[1コリン

分のいのちが御自分に似る身体たちの中に現れることができるように、御自分のいのちを教会(運搬者もしくは背負う者)に与えられました。復活の時にその王室の種子は多くの御自分に似る王室の種子をご覧になり、そして彼らは主にそっくりです。ヨハネが言うように、「私たちはキリストに似た者になる」[1ヨハネ3:2]。これはバプテスマのヨハネがイエスは麦を倉に収められると言った時に指していたことです[マタイ3:12]。それは永遠のいのちに入るのに選ばれた贖われた者たちが現れる復活の時のことでした。

この本来の種を最後には何倍も実る小麦の植物についての記録こそが**いのちの書**です。もう一度言います、この小麦の植物の歴史もしくは記録は**いのちの書**で、いのちの書の一部は**永遠のいのちの記録**です。(いのちの書の1部分がそうです。)その小麦の植物をよく調べると確信することができます。一粒の種子は撒かれます。すぐしたら葉っぱが見えます。しかしそれはまだ麦粒ではありません。次に茎が生えます。これもまだ麦粒ではありません。いのちはそこにいるが、麦粒ではありません。そうしたら茎の先端に小さな穂が生え、1本の花穂が伸びてきます。まだ麦の植物の状態ではありません。次にその植物に受粉が起こり、もみ殻が形づくられるのが見えます。これは非常に麦粒らしく見え

れなければなりません。もし名前が一度もいのちの記録の中に記されたことがないのならば、私たちもそれを受け入れなければなりません。そしてもし神の選民で御自分の兄弟たちに対して善良と優しさそして正義をもって接したことだけで白い御座の裁きの後に永遠のいのちを得られる人がいるなら、私たちは受け入れるべきです。**だれが主の心を知り、主に助言するのですか**[1コリント2:16]。むしろ信仰を持って私たちの父なる主に従順に生きるべきです。

このテーマをさらにはっきり理解するためには各時代の教会の立場からそれに接するのが賢いやり方です。これまでに私たちは名前が消されるという角度から考えてきました。今個人ではなく教会にいる各宗派が象徴するものを考えていきたいです。そうするために、各時代の教会を小麦と照らし合わせていきたいと思えます。一粒の麦の種子はある一定な過程を経て、そして一定な期間を経てから何倍も実るために植えられます。あの一粒の麦は死ぬが、死ぬ過程でその中の命は1本の植物となり、その植物は何倍もなった本来の形に戻すためにその命を背負うもしくは運ぶ者となります。イエスという偉大な王室の種子は亡くなられました。あの教会のいのちである無比な方は全ての7つの教会時代の間教会の真ん中に立たれ、最後の復活の時に御自

れなければなりません。もし名前が一度もいのちの記録の中に記されたことがないのならば、私たちもそれを受け入れなければなりません。そしてもし神の選民で御自分の兄弟たちに対して善良と優しさそして正義をもって接したことだけで白い御座の裁きの後に永遠のいのちを得られる人がいるなら、私たちは受け入れるべきです。**だれが主の心を知り、主に助言するのですか**[1コリント2:16]。むしろ信仰を持って私たちの父なる主に従順に生きるべきです。

このテーマをさらにはっきり理解するためには各時代の教会の立場からそれに接するのが賢いやり方です。これまでに私たちは名前が消されるという角度から考えてきました。今個人ではなく教会にいる各宗派が象徴するものを考えていきたいです。そうするために、各時代の教会を小麦と照らし合わせていきたいと思えます。一粒の麦の種子はある一定な過程を経て、そして一定な期間を経てから何倍も実るために植えられます。あの一粒の麦は死ぬが、死ぬ過程でその中の命は1本の植物となり、その植物は何倍もなった本来の形に戻すためにその命を背負うもしくは運ぶ者となります。イエスという偉大な王室の種子は亡くなられました。あの教会のいのちである無比な方は全ての7つの教会時代の間教会の真ん中に立たれ、最後の復活の時に御自

ト6:2-3]。彼女の名前(彼女の中のメンバーのひとりひとり)は世界の基が据えられる前から子羊のいのちの書の一章に記されました。2番目に、もうひとつのグループがあります。彼らの名前もいのちの書にあり、第二回目の復活で現れます。そのような人々はマタイ25章で言われているような愚かな処女たちと義人たちです。このグループは獣を拝まず、もしくはアンチキリストの組織に関与せず、花嫁ではなく、新しく生まれてさえいないが、信仰のために亡くなります。しかし彼らは第二の復活で現れ、そして永遠のいのちの中に入ります。3番目はエジプトから出るイスラエル人たちで見られたような境界をさまようクリスチャンたちです。彼らの名はいのちの書に記され、働きは書物に書かれます。彼らは御言葉に従わず、御霊を持たないため、彼らの間でしるしと奇跡があるにも関わらず、いのちの書から名前が除かれます。このグループの中にはユダのような御霊を全く持たないが、敬虔で、いのちの中で表しがあり、書物に記されるが主の中に選ばれない者たちがいます。バラムのような人もそのグループにいます。4番目、そして最後は、初めからもしくは決してその名前が書物に記されない者たちです。

そのような人々は黙示録13:8そして17:8で見つけることができます、

ト6:2-3]。彼女の名前(彼女の中のメンバーのひとりひとり)は世界の基が据えられる前から子羊のいのちの書の一章に記されました。2番目に、もうひとつのグループがあります。彼らの名前もいのちの書にあり、第二回目の復活で現れます。そのような人々はマタイ25章で言われているような愚かな処女たちと義人たちです。このグループは獣を拝まず、もしくはアンチキリストの組織に関与せず、花嫁ではなく、新しく生まれてさえいないが、信仰のために亡くなります。しかし彼らは第二の復活で現れ、そして永遠のいのちの中に入ります。3番目はエジプトから出るイスラエル人たちで見られたような境界をさまようクリスチャンたちです。彼らの名はいのちの書に記され、働きは書物に書かれます。彼らは御言葉に従わず、御霊を持たないため、彼らの間でしるしと奇跡があるにも関わらず、いのちの書から名前が除かれます。このグループの中にはユダのような御霊を全く持たないが、敬虔で、いのちの中で表しがあり、書物に記されるが主の中に選ばれない者たちがいます。バラムのような人もそのグループにいます。4番目、そして最後は、初めからもしくは決してその名前が書物に記されない者たちです。

そのような人々は黙示録13:8そして17:8で見つけることができます、

「地に住む者たちで、世界の基が据えられたときから、屠られた子羊のいのちの書にその名が書き記されていない者はみな、この獣を拝むようになる。

あなたが見た獣は、昔はいたが、今はいません。やがて底知れぬ所から上って来ますが、滅びることになります。地に住む者たちで、世界の基が据えられたときからのちの書に名が書き記されていない者たちは、その獣が昔はいたが今はおらず、やがて現れるのを見て驚くでしょう。」

イエスはある特定のグループの人々とはある自分の名前のもとで来ている者を受け入れると言われました。その者こそがアンチキリストです。そしてそれは実に黙示録13:8そして17:8で言われていることです。これらの人々は神によってあらかじめ定められているが、選ぶのためではありません。そしてこのグループの中にファラオのような人がいます。

ファラオについては、こう言われています、

「このことのために、わたしはあなた

「地に住む者たちで、世界の基が据えられたときから、屠られた子羊のいのちの書にその名が書き記されていない者はみな、この獣を拝むようになる。

あなたが見た獣は、昔はいたが、今はいません。やがて底知れぬ所から上って来ますが、滅びることになります。地に住む者たちで、世界の基が据えられたときからのちの書に名が書き記されていない者たちは、その獣が昔はいたが今はおらず、やがて現れるのを見て驚くでしょう。」

イエスはある特定のグループの人々とはある自分の名前のもとで来ている者を受け入れると言われました。その者こそがアンチキリストです。そしてそれは実に黙示録13:8そして17:8で言われていることです。これらの人々は神によってあらかじめ定められているが、選ぶのためではありません。そしてこのグループの中にファラオのような人がいます。

ファラオについては、こう言われています、

「このことのために、わたしはあなた

この恵みを、神はあらゆる**知恵**と**思慮**をもって私たちの上にあふれさせ、

みこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。その奥義とは、キリストにあって神があらかじめお立てになったみむねにしたがい、

時が満ちて計画が実行に移され、天にあるものも地にあるものも、一切のものが、キリストにあって、一つに集められることです。

またキリストにあって、私たちは御国を受け継ぐ者となりました。すべてをみこころによる計画のままに行う方の目的にしたがい、あらかじめそのように定められていたのです。」

したがってもし神はご自分の花嫁の名前であるため消すことができない名前を子羊のいのちの書の1章に置かれることを計画されたならば、私たちはそれを受け入れなければなりません。もしいのちの書の記録に名前が記されるが、神の予知において彼らは墮落しそして名前が除かれるとも言うなら私たちはそれを受け入

この恵みを、神はあらゆる**知恵**と**思慮**をもって私たちの上にあふれさせ、

みこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。その奥義とは、キリストにあって神があらかじめお立てになったみむねにしたがい、

時が満ちて計画が実行に移され、天にあるものも地にあるものも、一切のものが、キリストにあって、一つに集められることです。

またキリストにあって、私たちは御国を受け継ぐ者となりました。すべてをみこころによる計画のままに行う方の目的にしたがい、あらかじめそのように定められていたのです。」

したがってもし神はご自分の花嫁の名前であるため消すことができない名前を子羊のいのちの書の1章に置かれることを計画されたならば、私たちはそれを受け入れなければなりません。もしいのちの書の記録に名前が記されるが、神の予知において彼らは墮落しそして名前が除かれるとも言うなら私たちはそれを受け入

「私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。神はキリストにあって、天上にあるすべての霊的祝福をもって私たちに祝福してくださいました。

すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方において私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。

神は、みこころの良しとするところにしたがって、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。

それは、神がその愛する方において私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。

このキリストにあって、私たちはその血による贖い、背きの罪の赦しを受けています。これは神の豊かな恵みによることです。

「私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。神はキリストにあって、天上にあるすべての霊的祝福をもって私たちに祝福してくださいました。

すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方において私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとされたのです。

神は、みこころの良しとするところにしたがって、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。

それは、神がその愛する方において私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。

このキリストにあって、私たちはその血による贖い、背きの罪の赦しを受けています。これは神の豊かな恵みによることです。

を立てておいた。滅ぼされるはずの怒りの器」

ローマ9:17,22

これらの人の中にいのちの記録の中には記されていません。彼らには記録が記されないとは言っていない。彼らには何らかの記録が記されているのは確かだが、いのちの記録の中には記されていません。彼らの存在意義はこの本の他の部分でも少し言及したが、2つの聖句をさらに加えましょう。

箴言16:4、

「すべてのものを、主はご自分の目的のために造り、悪しき者さえ、わざわいの日のために造られた。」

ヨブ21:30、

「悪人がわざわいの日を免れ、激しい怒りの日から連れ出されるというのか。」

この部分の御言葉は人の心では意味を掴むのが難しいため、信仰によって受け入れそして信じられるな

を立てておいた。滅ぼされるはずの怒りの器」

ローマ9:17,22

これらの人の中にいのちの記録の中には記されていません。彼らには記録が記されないとは言っていない。彼らには何らかの記録が記されているのは確かだが、いのちの記録の中には記されていません。彼らの存在意義はこの本の他の部分でも少し言及したが、2つの聖句をさらに加えましょう。

箴言16:4、

「すべてのものを、主はご自分の目的のために造り、悪しき者さえ、わざわいの日のために造られた。」

ヨブ21:30、

「悪人がわざわいの日を免れ、激しい怒りの日から連れ出されるというのか。」

この部分の御言葉は人の心では意味を掴むのが難しいため、信仰によって受け入れそして信じられるな

ければなりません。私が話したことで傷つく人は現れません。なぜなら彼らは**神を神にする**神の主権を理解することができず、そして主は神であるため、誰もが主の忠告を無効にしたり、主の御心と目的を撤廃したりすることはできません。しかし、主は全能であるため、**万物を**管理され、そして御自分の全ての創造物で御自分の御心を行われます。なぜなら万物が主の御心のゆえに創造されたのです[黙示録4:11]。したがって、パウロが話したように、「人よ。神に言い返すあなたは、いったい何者ですか。造られた者が造った者に「どうして私をこのように造ったのか」と言えるでしょうか。陶器師は同じ土のかたまりから、あるものは尊いことに用いる器に、別のものは普通の器に作る権利を持っていないのでしょうか。」主は創造という土台の元だけでこのようにされることができ、私たちは否定することはできません。しかし主はさらに一歩進まれ、ローマ14:7-9において私たちはイエスが全世界の代価を支払われた動かぬ証拠を見つけました。したがって主はご自分の御心で御自分の人を扱われることができます。

「私たちの中でだれ一人、自分のために生きている人はなく、自分のために死ぬ人もいないからです。」

ければなりません。私が話したことで傷つく人は現れません。なぜなら彼らは**神を神にする**神の主権を理解することができず、そして主は神であるため、誰もが主の忠告を無効にしたり、主の御心と目的を撤廃したりすることはできません。しかし、主は全能であるため、**万物を**管理され、そして御自分の全ての創造物で御自分の御心を行われます。なぜなら万物が主の御心のゆえに創造されたのです[黙示録4:11]。したがって、パウロが話したように、「人よ。神に言い返すあなたは、いったい何者ですか。造られた者が造った者に「どうして私をこのように造ったのか」と言えるでしょうか。陶器師は同じ土のかたまりから、あるものは尊いことに用いる器に、別のものは普通の器に作る権利を持っていないのでしょうか。」主は創造という土台の元だけでこのようにされることができ、私たちは否定することはできません。しかし主はさらに一歩進まれ、ローマ14:7-9において私たちはイエスが全世界の代価を支払われた動かぬ証拠を見つけました。したがって主はご自分の御心で御自分の人を扱われることができます。

「私たちの中でだれ一人、自分のために生きている人はなく、自分のために死ぬ人もいないからです。」

私たちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死にます。ですから、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです。

キリストが死んでよみがえられたのは、**死んだ人にも生きている人にも、主となるためです。」**

(ここでは相互の関係ではなく、所有権について言っています。)

このことはヨハネ17:2でも言われています、

「あなたは子に、**すべての人を支配する**権威を下さいました。それは、あなたが下さったすべての人に、子が永遠のいのちを与えるためです。」

もし神は全てのことをご存知であると認識できるなら、主は知恵と正義において完全な方であると受け入れなければなりません。この選びと叱責の計画は神が全ての時代において表される知恵であり、エペソ1:3-11で言われているように、

私たちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死にます。ですから、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです。

キリストが死んでよみがえられたのは、**死んだ人にも生きている人にも、主となるためです。」**

(ここでは相互の関係ではなく、所有権について言っています。)

このことはヨハネ17:2でも言われています、

「あなたは子に、**すべての人を支配する**権威を下さいました。それは、あなたが下さったすべての人に、子が永遠のいのちを与えるためです。」

もし神は全てのことをご存知であると認識できるなら、主は知恵と正義において完全な方であると受け入れなければなりません。この選びと叱責の計画は神が全ての時代において表される知恵であり、エペソ1:3-11で言われているように、